

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37486
事業名	スポーツ施設リフレッシュ費					
評価担当課	所属名	ス)スポーツ部 施設課				
	課長名	井上 昭	担当者名	井関 美加	電話番号	011-211-3045
施策名	主	都市基盤の維持・保全と防災力の強化				
	副					
アクションプラン	● 対象      ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象      ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費      ● 臨時的経費					
	○ 内部管理      ○ 法定経費      ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営      ○ 一部委託      ● 全部委託      ○ 補助助成      ○ その他				
	目的	短期	改修工事の実施施設数、2022年まで16施設			
		長期	利用者に安全・快適な施設を提供するため、引続き計画的に施設の改修、更新を行う。			
	取組内容	建築部が実施する保全推進事業の対象外となる、スポーツ施設の保全及び施設で使用している大型備品の更新を計画的に行う。				
	実施結果	スポーツ施設の保全・改修、備品の更新を計画的に実施した。 ①大倉山ジャンプ競技場屋外エスカレーター保全②星置スケート場リンクサイドマット更新③美香保体育館アリーナフロア保全④スポーツ交流施設人工芝・屋外雨水設備保全⑤藤野リージュ競技場照明設備ほか保全⑥円山総合運動場陸上競技場建築保全⑦円山総合運動場陸上競技場公認改修・備品更新⑧白旗山競技場天然芝保全⑨星置スケート場整氷車更新⑩手稲区体育館トレーニングマシン更新⑪南区体育館体操競技用備品更新				
事業実施における工夫点	建築部が実施する保全推進事業との調整のほか、緊急性・優先度などを総合的に判断し、効率的に修繕等を実施した。					
対象者	施設利用者	開始	令和2年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	建築基準法、電気事業法、消防法					
他都市の状況						

◎事業費

(単位:千円)

		令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費		357,727	620,000	400,432	183,000
うち特定財源		231,000	404,000	231,000	115,000
人工		1.7	1.7	1.7	2.4
人件費		12,240	12,240	12,240	17,280
計(事業費+人件費)		369,967	632,240	412,672	200,280
事業費の内訳	令和3年度決算	【事業費】400,432千円 ・施設修繕等 186,758千円 ・備品購入 52,048千円 ・円山総合運動場陸上競技場公認関係 161,626千円			
	令和4年度予算	【事業費】183,000千円 ・施設修繕等 163,463千円 ・備品更新 19,537千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	改修工事の実施設数				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
	9	7	9	7		
	指標名					
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
成果指標1	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
成果指標2	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	市民が安全、快適にスポーツを楽しめる環境を維持していくため、札幌市が管理しているスケート場や体育館などのスポーツ施設の計画的な保全・改修、大型備品の更新を行い、安定的に提供することができた。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	建築時から数十年経過している施設が多く、保全推進事業が進められているが、計画的な保全が必要。また、老朽化が目立つ大型備品(整氷車、トレーニングマシン等)も計画的に更新しており、安全なスポーツ活動の場を提供するための経費は妥当である。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	各施設を調査し、優先順位を定めて保全を実施することにより、利用者の利便性、安全な供用を確保している。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	施設の予防保全の実施により、利用者に不便をかけることなく、安心・安全な施設の提供ができている。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映					
今後の改善点	各施設の設備は老朽化が進んでおり、改修、保全費用の増加が予想されることから、大型備品もあわせて長寿命化を図るため、予防的な保全に計画的に取り組む必要がある。					
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	施設の老朽化に応じた改修・保全を実施したことにより、利用者である市民に安心・安全な場を提供できた。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 施設の老朽化が進む中、建築物の耐久性を確保するため、建築部による保全推進事業と連携し、予防保全を行う。				
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 建築部が実施する保全推進事業との連携により、効率的な保全を行っていく。			見直し効果額	0